

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
家族支援論		BNNSS4L22	30303	2後	1(30)	選択
担当教員	千葉 陽子	実務歴	有	助産師として病院に6年勤務 助産師・看護師(JICA技術協力専門家など)として、海外の助産所や専門機関に従事		
概要	わが国における「家族」の形態や機能の変遷を踏まえて現代社会の「家族」を把握した上で、看護における「家族」の概念を理解する。そして、健康問題をもつ成員を抱える家族を一単位としてアセスメントし、援助計画を立案し、援助して評価する方法を習得する。また様々なライフステージや発達段階にある家族への看護実践事例を通して、具体的な援助方法についての理解を深める。					
学修目標	1) 看護学における「家族」の概念や家族を把握するための諸理論を述べることができる。 2) 家族看護過程(アセスメント、計画立案、援助、評価)の展開方法を説明できる。 3) 様々な健康問題をもつ成員を抱える家族への援助方法について論じることができる。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	○
	探求力と生涯学習能力	○	ケアリングとコミュニケーション	○	適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		
1	ガイダンス、家族看護学の発展過程、ニーズ、定義			①p.4～p.15を授業前後に読むこと		
2	家族のセルフケア機能、健康問題への対応能力			①p.16～p.25を授業前後に読むこと		
3	看護学における「家族」の概念、「家族の健康」の概念、家族の形態とその歴史的变化			①p.28～p.37を授業前後に読むこと		
4	家族の機能とその変化、わが国の家族			①p.35～p.45を授業前後に読むこと		
5	家族を理解するための諸理論：家族発達論、家族システム論、家族ストレス対処理論			①p.46～p.59を授業前後に読むこと		
6	家族を理解するための諸理論：家族ストレス対処理論の活用			①p.54～p.59を授業前後に読むこと		
7	家族を理解する技法：ジェノグラム、エコマップ			授業で提示する資料を読んでから授業にのぞむこと		
8	家族看護過程：家族看護アセスメント、看護計画の立案			①p.62～p.97を授業前後に読むこと		
9	家族看護アセスメント支援モデルの活用 (高齢者介護を行っている家族への看護)			①p.98～p.107, p.250～p.253を授業前後に読むこと		
10	家族方法、評価、家族看護における看護者の役割と援助姿勢			①p.108～p.144を授業前後に読むこと		
11	生まれることと家族看護：乳児を持つ家族への看護			①p.148～p.163を授業前後に読むこと		
12	生まれることと家族看護：重症心身障害児をもつ家族への看護			①p.166～p.188を授業前後に読むこと		
13	生まれることと家族看護： ペリネイタルロス、不妊治療を受けるカップルへの看護			授業で提示する資料を読んでから授業にのぞむこと		
14	様々な対象や場面での家族看護： 急性期・集中治療の場、精神疾患をもつ患者、終末期患者			担当箇所をあらかじめ読むこと。 急性期：①p.190～p.213、精神：①p.216～p.247、終末期：①p.266～p.286		
15	様々な対象や場面での家族看護まとめ、全体のまとめ					
使用テキスト	① 鈴木和子, 渡辺裕子, 佐藤律子. 家族看護学・理論と実践. 第5版, 看護協会出版会. (最新版)					
参考図書	適宜授業で紹介する。					
成績評価基準	レポート60%、課題40%					